



地域連携の教育活動 1年生・4年生・5年生

手縫いサポート

青少年育成部会

芋差しサポート

なみぬい・かがりぬいなど少し難しいこともサポーターのアドバイスにより「できた」後、確認してもらい合格シールを喜んで貼っていました。児童にとっては、ふだんできない貴重な経験となりました。

6月30日(火)に5年生の手縫いサポートがありました。6班に分かれて手縫いの教材を使いながらの実習です。8名のサポーターが各班について手伝いをしました。

6月15日(月)「芋差し」を1年生16名が体験しました。まずはサポーター10名が芋苗の差し方を指導し、児童の手で一本ずつ丁寧に植えていき、その後、今度は1年生が保育園児に植え方を教えました。

児童のみんなは、早くもお芋さんがしつかり育ち、11月に収穫するのが楽しみの方でした。

「お芋さん大きくなあれ」



むずかしいなあー



よろしくお願いします。



園児・児童・サポーター



保育園児に教えて!!

うなぎ・モクズガニ放流サポート①

7月7日(火)「うなぎ・モクズガニ放流を4年生28名が体験しました。教室でコミュニティの坂本兼吾さんからウナギ・カニなどの生態について、事前の授業を受けた後、途中自生する草花などの名称などについての説明も受けながらサポーターとともに、学校から徒歩で牛坂地区の八幡川親水公園まで向かいました。

児童は川に入り、ウナギとモクズガニを放流しました。直接触るのは初めての子がほとんどで「キャー」と叫んだりしながらも「また戻ってきてね」と願いを込めていました。帰りは可動堰を見学して川の水が田んぼにいきわたるシステムを理解し、学校に戻ってそれぞれの感想を述べ、半日の貴重な体験を終えました。

井堰の開閉により水量調整



割と大きかったかな?!

放流前の授業 みんな真剣



事前授業 楽しくなってきた

うなぎ・モクズガニ放流サポート②

今回の放流事業は、一度雨で延期になり、今回（7日）の2日前（5日）も市内では日雨量100mmを超えていたので実施できるか心配されましたが、坂本さんのこれまでの経験による判断、上久間地区など関係者の皆様のご協力と先生方による事前の指導もあって無事終了できました。

坂本さんは長年にわたる膨大な研究資料の一部を分かりやすく授業をしていたきました。上久間地区の方は井堰の水量調整や事前の草刈りにより、児童は安全に放流することができました。

また、学校と現地の往復の際、駐在員さんによる交通指導とサポーターさん達も子どもたちと歩きながら安全確保などそれぞれサポートしていただきました。市からも多くの皆さんが、稚魚放流支援にお手伝いいただきました。

全ての関係者の皆様へ感謝申し上げます。



八幡川親水公園（牛坂）へ



上流にある井堰で水量調整

地域づくり部会

落雁づくり 体験会

“my 落雁、
作ってみませんか”



開催日
令和8年8月9日（日）
詳細は募集チラシを各戸へ配布中です。

教育活動サポーター募集中！

久間つ子寺子屋は、7月22日（水）23日（木）24日（金）午前9時から10時45分で行われます。
夏休み最初の3日間、各教室で勉強をする子どもたちのお手伝いです。
この他にも学校へは年間を通していろいろなサポーターがあるので、興味がある方はコミュニティセンター事務局まで連絡下さい。子供の笑顔に接して自分も元気がもらえます。

青少年育成部会

昨年の寺子屋写真



事務局長雑感

小生も健康寿命72.57歳（令和4年データ）まであと数年、それを延ばすための努力は難しく、先輩のように今しかできないことを何か考えてみようか！！

「自由になった先輩」が何回かに分けたら日本一周をされている。
「足腰が元気な今のうちに行きたい。」ということ、車で自由な旅に出発されて、通算五十数日になる。羨ましく思っているのは私だけではない。先輩の動向についてのお尋ね多数である。
最初の頃は「もう旅行に行きたくないとね」「旅行に行くと言えんしやったいどん どがしんしんしゃつとね」など
最近では「今何処にきやろか」「帰って来てまた行きんしやつたてやろう」など皆さんも羨まし限りのようだ。
日本一周終わられたらそのような皆さんへの報告が必要だろう。先輩の無事の帰還を祈り、楽しい旅の報告を待ちたい。
ところで、人生百年時代といわれるが、いかに自立して元気に生きるか（健康寿命）が鍵だと言われている。

青色防犯パトロール活動担当地区のお知らせ

午後3時15分～4時15分まで

7月 堤ノ上
8月 中通

よろしく
お願いします



PTA も月2回パトロールしています